

発行 日本音楽療法学会

理事長 日野原重明 副理事長 村井 靖児

事務局 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-20-8 浜松町一丁目ビル 6階 TEL 03(5777)6220 FAX 03(5401)0337

理事長・副理事長 ご挨拶

日野原 重明 理事長



日本音楽療法学会会員の方々に、私は今号のニュースレターを通して、この度の東日本巨大震災と津波、福島第一原子力発電所事故による、チェルノブイリでの事故に匹敵する放射能物質放出などにより、東北、関東地方の大きな天災・人災により苦悩されている方々の悲しみを持つ多くの罹災者に、学会理事長として厚い心で同情の念を持つものであります。

今、宮城、岩手、福島地方在住の本学会員に、目下あらゆる手で連絡を取っています。

そのような会員並びに所属する支部の音楽療法活動に対して、本部はもちろん日本の多くの支部から救援活動の申し出が殺到しています。

とりあえず、本部は被害の支部に援助金を3月23日に送り済みであります。

今後は本会員の被害地における人々の持つ心の痛手の癒しと再起する活力源となる音楽療法を具体的にどう行うかについて考え、これを現地の会員と共に実行するように協力していきます。

被災者の受けた Trauma Related Stress Disorder (TRSD) に対する心の癒しの必要性は17年前の阪神大震災の際に注目されましたが、その経験を持つ関西地方の会員の中には、音楽療法による心の癒しと立ち上がる活力をもたらせる音楽療法のボランティアを志願したいという声が集まっています。

日本全国の会員の気持ちがこのような大試練の中で、一層密になり協力して対応する行動が早く取られることを私は強く期待するものです。

皆様の一層のご協力をお願いいたします。

村井 靖児 副理事長



この度の大きな震災で、一瞬にして住む家を失い、最愛のご家族を失くされた被災地の皆様方と、時を同じくして起こった原発の破損から住み慣れた土地を離れることを余儀なくされている多くの方々に、心からお見舞いを申し上げます。と共に、この震災で亡くなられた凡ての方々に對し、衷心よりご冥福をお祈りいたします。

この災害から、私たちは自然の驚異がいかに想像を絶するものか、科学の粋を尽くした構築物といえども決して過信はならないという二つの教訓を得ました。この二重の不幸を前にして、私たちは今いかにして震災から立ち直ることが出来、その際いかなる貢献ができるかを思い描きます。

瓦礫の中に置かれた一本の花や、探し出された一枚の写真に涙している現地の方々の姿を見るとき、心のケアとはどのようなものかを考えさせられます。地元の中学生や小学生の歌声が地元の人たちの涙を誘うのは、彼らの歌に賢（さか）しさが微塵もない点です。私たちも、野の花や子供や動物のように屈託ない気持ちになれるのでしょうか。イタリアの名カストラートテナー、ファリネリが、時のドイツ皇帝からもらって座右の銘にした言葉は、「誠実、素朴、情念」の3文字でした。今だからこそ真心が伝わる音楽療法を心がけたいものです。被災地の一日も早い復興をお祈りいたします。

第11回日本音楽療法学会学術大会（富山）へのいざない

大会長 海老原 直邦

風薫るさわやかな季節となりました。会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

さて、今秋9月上旬に開催される第11回日本音楽療法学会学術大会まで、あと4か月ほどとなりました。第1、第2、第3次案内をお届けし、大会行事内容の概略および大会参加や研究発表の申し込み方法などについてお知らせしましたので、すでに割引料金にて参加申し込みを済まされた会員の方も多いことかと思えます。

今学術大会のメインテーマは「音楽療法の可能性と未来～「こころ」「からだ」「社会」の視点から～」としました。このテーマに込められた第一のメッセージは、現在各分野で実践されている音楽療法に加えて「新たな実践技法の可能性をもっと積極的に探ってみませんか？」ということ、そして第二は、未来へ向けて「一見異なった療法理論やアプローチではあっても、それらを統合発展させる試みに挑戦しませんか？」ということ。音楽療法の世界で仕事をする者は、自分個人の活動と経験の枠組みを超えて、未知の分野にも視野を広げ、さまざまな可能性に思いを馳せることによって、より効果的で実り豊かな療法を実現できると考えるからです。それは、社会の中で「専門職」として音楽療法に携わろうとする者の責務ではないでしょうか。

そのような思いを抱きつつ、今大会でもさまざまなプログラムを企画しました。大会初日（9月9日）には、富山市中心部にある富山国際会議場および隣接のANAクラウンプラザホテル富山において、例年のように講習会を開催します。その内容は心理、発達障害、神経科学、福祉、地域支援、スーパービジョンなど多岐にわたり、合計16コマの講座を設けました。なお、当日は同じ会場で並行して、別途、学会本部主催による必修講習会が、前日から引き続き行われることになっています。

大会2日目（9月10日）の午前中は、JR富山駅北側に隣接するオーバード・ホール（富山市芸術文化ホール）において開会式が行われ、続いて、日野原重明理事長による基調講演（兼県民講座）、大会長講演、そして地元の合唱団「バッハアンサンブル富山」によるミニコンサートが行われます。この日の午後からは会場を替え、大会3日目（9月11日）にかけて、市中心部の富山国際会議場およびほど近い富山県民

会館にて、特別講演、ワークショップ、シンポジウム、研究発表など、種々の行事が行われることとなります。

特別講演では、米国コロラド州立大学のマイケル・タウト教授に神経学的音楽療法の理論をお話しいただき、ワークショップ（4枠）では、音楽療法分野からロビン・ロイド氏（民族楽器奏）と吉田豊氏（ギター奏）をお招きします。加えて、異色の音楽家、大友剛氏（ピアノとマジック）とおおたか静流氏（歌と「ボイスアート」）にも講師をお願いし、新たな音楽療法の技法を考えるヒントを得る場を提供したいと思っています。

自主シンポジウムは6枠の設定が可能ですので、会員の皆様からの積極的な企画応募を期待しています。今回は、実行委員会企画による「大会シンポジウム」のセッションも設けます。ここでは、今大会のメインテーマをめぐって、4名の話題提供者と2名の指定討論者を中心に、音楽療法の発展の方向性を多方面から探る討論が活発に展開されることでしょう。

今大会で特に強調したいことは、「学会員同士が相互に教え学び合う」姿勢をもつということです。学術大会では、高名な講師の講演やシンポジウムなどをとおして、新しい知識や考え方を学ぶことも大切ですが、一方、借りものでなく地に足の着いた自分自身の臨床実践や研究の成果を報告発表し、他の会員からの評価やアドバイスをすることも極めて重要だと思われまます。そのためにも、大会実行委員会としては、数多くの口演発表とポスター発表が可能となるような条件を整えるべく会場の準備を進めて参りました。どうか、奮って研究発表（演題募集）にご応募下さい。

開会式や交流会では富山の伝統芸能のほか、ルネサンス～バロック期の古楽や合唱などもお楽しみいただく予定です。雄大な北アルプス立山連峰のふもと、富山の地にて、キトキトの（＝新鮮で活きのよい）海の幸と美酒をいただきながら、音楽の素晴らしい力を引き出すアイデアを皆様と楽しく語り合い、未来への夢を大きくふくらませたいものです。第11回日本音楽療法学会学術大会・講習会へ全国各地から沢山の方々のご参加を、関係者一同、心よりお待ちしております。

（9月9日講習会、10・11日学術大会）

■ 日本音楽療法学会 音楽療法士（補）試験実施要項（抜粋） ■

わが国においては1997年に全日本音楽療法連盟の資格認定制度が開始されました。当時、音楽療法士養成課程を有する学校はきわめて少数であり、当然ながら試験制度は採択されませんでした。代わりに、現在にいたるまで臨床的経験を重視した暫定的な処置による音楽療法士認定がなされてきた経緯があります。

しかし同連盟は暫定的な認定制度と並行して1996年に大学や専門学校での教育へのガイドラインとして音楽療法士養成カリキュラム96を制定しています（現在は改定されたカリキュラム01が制定されています）。その後、幾つかの大学、専門学校などにおいてこのガイドラインを基本にした音楽療法士養成コースが設置され、近年になりそれらのコースの卒業生が誕生するようになりました。

これらの卒業生は学会が定めたカリキュラムに基づいて教育訓練を受けた者であり、これらの教育を受けていない者と

は異なる基準で資格認定が行なわれなくてはならないはずす。

以上の経緯により、学会により教育カリキュラムの審査を受け承認された大学や専門学校の音楽療法コースの卒業生を対象に音楽療法士（補）認定試験が2001年度より実施されることとなりました。

この試験は各受験者の音楽療法に関する全般的な知識を指定カリキュラムに基づき広い範囲にわたり尋ねるもので、受験生の基本的な知識と能力、また音楽療法士としての適正を確かめる目的で行なわれます。

この試験に合格した者は日本音楽療法学会認定音楽療法士（補）の資格を得ることができます。この資格は、本人の音楽療法活動の臨床経験が3年をこえる時点で改めて学会に申請すれば（臨床事例報告審査と面接を経て）正式に音楽療法士として認定されます。（2012年度より制度変更、P14参照）

1. 試験の日時および会場：《2011年度は→2012年1月15日、日本教育会館》
2. 試験科目：音楽療法科目を中心に、カリキュラムガイドライン01に含まれる教科全般。
3. 受験資格：本学会から教育カリキュラムの審査を受け承認された大学ならびに専門学校等の音楽療法コースの卒業生および見込生。
4. 受験手続：
 - (ア) 学会事務局への受験申請を行う。なお記入に際しては戸籍に記載されている氏名を使用する。
 - (イ) 事前に受験手数料1万円を日本音楽療法学会に振り込む。
 - (ウ) 申請には以下を同封して、日本音楽療法学会へ送付する。
 - ① 受験申請書（該当の教育機関に学会より送付します）。
 - ② 単位取得証明書 および取得中の単位については 単位取得見込み証明書 などそれを証明する書類、なお、専門学校にあっては高等学校卒業後における各種教育機関における単位取得証明書を添付しなければならない。
 - ③ 既卒者は卒業証明書（卒業見込みの者は下記9を参照）。
 - ④ 受験票送付用の 返信用封筒（長形3号サイズ、自分の宛先を記入して、80円切手を貼付する）。
 - ⑤ 受験手数料振込控 のコピー。
 - (エ) 受験時には受験票と本人の写真の付いた証明書（学生証、運転免許証など）を持参する。
5. 試験はマークシートを用いて多岐選択形式で合計150問（試験時間は合計2時間30分）。
受験票、筆記用具（HB鉛筆数本と消しゴム）および時計のみ会場の卓上に置くことができる。
6. その他、試験時に特別な援助などの必要がある場合は事前に事務局に申し出てください。また当日欠席などによる返金はいたしません。
7. 受験申込期間 《2011年11月14日（月）～11月30日（水）までに学会事務局へ必着》
8. 合格者の発表 《2012年2月初旬（審査結果は受験者本人に文書にて通知）》
9. 合格者のうち、卒業見込みの者は卒業後、卒業証明書を当学会事務局へ送付してください。（既卒者は不要）。送付してきた者について当学会音楽療法士（補）の資格証明書を発行します。（既卒者には合格発表と同時に発行します）。この証明書は、正規の当学会音楽療法士の資格認定申請時に必要となります。

— ※ — ※ — ※ — ※ — ※ — ※ — ※ — ※ —

■ 2010年度受験資格認定校一覧 ■

都府県名	学校名	都府県名	学校名	都府県名	学校名
茨城県	茨城音楽専門学校	大阪府	相愛大学	長野県	長野医療衛生専門学校
長崎県	活水女子大学	群馬県	創造学園大学	愛知県	名古屋音楽大学
愛知県	金城学院大学	東京都	多摩リハビリテーション学院	愛知県	名古屋芸術大学
東京都	国立音楽大学	岐阜県	中部学院大学	東京都	日本大学芸術学部
岡山県	くらしき作陽大学	神奈川県	東海大学	東京都	日本福祉教育専門学校
北海道	札幌大谷大学	埼玉県	東京国際音楽療法専門学院	熊本県	平成音楽大学
神奈川県	昭和音楽大学	東京都	東京心理音楽療法福祉専門学校	宮崎県	宮崎学園短期大学
千葉県	聖徳大学	京都府	同志社女子大学	兵庫県	武庫川女子大学
神奈川県	洗足学園音楽大学	埼玉県	東邦音楽大学		

■ 支部情報（大会・講習会、総会などのお知らせ） ■

§ 北海道支部

【事務局】〒069-0842 北海道江別市大麻沢町20-10
TEL & FAX 011-387-1300

2011年度支部総会ならびに第19回研修会

開催日時：2011年5月22日（日）10：00～16：00

開催場所：北翔大学北方圏学術情報センター「ポルト」（札幌市中央区南1条西22丁目1-1）

研修会内容：教育講演（方波見康雄氏）、一般口演、ポスター発表、医学ミニレクチャーなど

問合せ先：上記事務局

北海道支部三役：支部長 久村正也、副支部長 郷久鉞二、事務局長 安藤妙子（いずれも再任）

§ 東北支部

【事務局】〒020-0117 岩手県盛岡市緑ヶ丘2丁目14-43 渡邊方
E-mail jmta-tohoku@festa.ocn.ne.jp

支部学術大会および講習会、総会

この度、東日本大震災にあたり皆様には多大なご支援、心暖まるお言葉に深く感謝しております。

この震災の影響により、3月19日に仙台市で予定されていた講習会は中止を余儀なくされました。さらに、昨年度より計画中であった6月18日～19日に山形市で開催予定であった支部学術大会開催についてもやむなく延期することと致しました。この大会については多方面のご意見、アドバイスを参考にしながら、現状にあった内容に変更し、規模を縮小してすすめていきたいと検討中です。講習会・大会にお申込み頂いた方には心からお詫び申し上げます。

今後とも役員、学会員一同、復興に向けて力を尽くしていく所存でございます。今後ともご協力頂けますようよろしくお願い致します。

§ 関東支部

【事務局】〒373-0806 群馬県太田市龍舞町2210-1 ドレミサポートハウス内
TEL 0276-55-6344 FAX 0276-55-5022
E-mail mtkanto@jmta-kanto.jp 支部ホームページ <http://www.jmta-kanto.jp/>

※2011年4月1日より支部事務局が上記へ移転しました。

関東支部・新三役（任期：2011年4月～2014年3月）

支部長：村林信行 副支部長：加藤美知子 事務局長：猪之良高明

第10回関東支部講習会・地方大会（神奈川）

開催日時：2012年3月10日（土）11日（日）

開催場所：東海大学 高輪キャンパス

大会長：吉田勝明（横浜相原病院）

テーマ：つながる・音楽あればこそ

内容：特別講演 辻井いつ子氏（ピアニスト辻井伸行氏のお母様）

大会企画 ①シンポジウム ②学生フォーラム（仮）

問合せ先：上記事務局 詳細は支部ホームページをご覧ください。

§ 信越・北陸支部

【事務局】〒950-2003 新潟県新潟市西区東青山1-11-17
TEL & FAX 025-231-9283 E-Mail cobaman@nifty.com

第9回支部学術大会のご案内

開催日時：2011年6月19日（日）

開催場所：富山国際会議場 メインホール

大会テーマ：「音楽療法の可能性と未来—その社会的役割」

大会長：海老原直邦（信越・北陸支部支部長）

内容：支部総会、オープニングセレモニー 高岡西高等学校合唱部「夕日」他、大会長挨拶、

講演会（兼市民講座）「だれもが楽しめる音楽力～音楽でもっと元気に幸せに～」

講師 湯川れい子氏（音楽評論家）

問合せ先：上記事務局

§ 東海支部

【事務局】〒501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘2-1
中部学院大学人間福祉学部音楽療法課程 鶴飼研究室
TEL 0575-24-2211 (代) FAX 0575-24-0077 (代)

1. 支部役員選挙

期 日：2011年秋

役 員 数：18名（県別選出及び全域選出にて）

2012年4月より、新役員体制に移行します。

2. 支部大会総会（予定）

開催日時：2012年3月 または4月上旬

開催場所：三重県内にて

§ 近畿支部

【事務局】〒561-8555 大阪府豊中市庄内幸町1-1-8 大阪音楽大学内
FAX 072-763-0305 E-mail jmtak@guitar.ocn.ne.jp
URL <http://www.jmtak.com/>

第10回近畿学術大会・講習会・近畿支部第12回総会

開催日時：2012年3月24日（土）25日（日）

開催場所：大阪総合保育大学（大阪市営地下鉄御堂筋線長居下車）

問合せ先：近畿支部ホームページ（<http://www.jmtak.com/>）から

§ 中国支部

【事務局】〒731-0295 広島県広島市安佐北区可部東1-2-1 広島文教女子大学 木村敦子研究室内
TEL & FAX 082-814-3161 E-mail jmta-cc@h-bunkyo.ac.jp
URL <http://www.h-bunkyo.ac.jp/jmta-cc/>

第11回支部大会・第18回講習会

開催日時：2011年5月14日（土）・15日（日）

開催場所：松江テルサ（島根県松江市 JR松江駅前）

内 容：講習会 講師 頼島敬氏・阿比留睦美氏

支部大会 総会・教育講演 高塚人志氏・研究発表

問合せ先：中国支部ホームページから

§ 四国支部

【事務局】〒762-0082 香川県丸亀市飯山町川原1847-4 三崎めぐみ気付
TEL & FAX 0877-98-7696 E-mail gabera29@mb.pikara.ne.jp ※メール（添付）での連絡希望

第8回支部大会

開催日時：2012年2月5日（日）9時半～16時半（予定）

開催場所：あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）徳島駅から徒歩6分

§ 九州・沖縄支部

【事務局】〒807-0846 福岡県北九州市八幡西区里中3-12-12 八幡厚生病院内
TEL 093-691-3344 FAX 093-603-7213

認定者向け講習会

開催日時：4月10日（日）

開催場所：アクロス福岡

支部講習会

開催日時：7月18日（祝日）

開催場所：宮崎

支部大会・総会

開催日時：2012年2月（未定）

開催場所：アクロス福岡

問合せ先：上記事務局

学会事務局からのお知らせ

■ 第12回日本音楽療法学会学術大会開催のお知らせ

- 日 時：2012年9月7日（金）・8日（土）・9日（日）
- 会 場：フェニックス・シーガイア・リゾート ワールドコンベンションセンター サミット（宮崎県宮崎市）
- 大会長：日野原重明、実行委員長：山下恵子、事務局長：越智和雄
- 大会テーマ：未定
- * 大会案内は順次お知らせします。

■ 2011年度研修・講習会開催のお知らせ

- 日 時：2012年3月3日（土）・4日（日）
- 会 場：日本教育会館一ツ橋ホール（東京都千代田区）
- * 詳細は次号でお知らせします。

■ 2011年度資格審査、資格更新審査のお知らせ

資格審査

- 2011年度に学会資格の認定申請（従来の認定制度）ができるのは、次のいずれかに該当する方に限定されます。これ以外の方は「新認定制度」に依ることとなります。
 1. 音楽療法士（補）の資格を有する方。
 2. 海外の音楽療法士の認定資格を有する方。
- 第16回の資格審査のための申請受付期間は、2011年9月30日～10月14日です。
 - * 10月14日（金）必着
- 必ず日本音楽療法学会版の申請書「認定規則（旧版）」を取り寄せて申請してください。
 - * 申請書「認定規則（旧版）」の取り寄せ方法
500円の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、「認定規則（旧版）請求」として事務局へお申し込みください。（会員のみが配布対象です）なお、返信用封筒は不要です。
 - * 書類審査結果は11月下旬に通知します。なお、書類審査合格者には面接試験（実技を含む、12月11日（日）、会場は東京）の案内が同封されます。

※学会ニュース20号の事務局からのお知らせにおいて、音楽療法士（補）の資格もしくは海外の音楽療法士の認定資格を有する方を対象とした専用の認定規則書を、2011年3月末日発行予定とお知らせしていましたが、（補）制度の改定に伴い現在内容を精査中です。詳細が決まりましたらご案内します。

資格更新審査

- 今回は第1回、第6回および第11回認定者が対象となります。
- 第11回の資格更新審査のための申請受付期間は、2011年10月17日～10月31日です。
 - * 10月31日（月）必着
- 対象となっておられる方は事務局よりお送りしました申請書類（資格更新規則／同細則の日本音楽療法学会版）にて申請してください。また、申請書（資格更新規則／同細則）を紛失された方は上記、認定規則と同じ方法でお取り寄せください。
- 猶予を申請される方も上記の受付期間に申請してください。

いずれの最終審査結果も2012年2月初旬に通知されます。

また、証明書類は現物とコピーの提出となっておりますのでご注意ください。現物は返却しますので、必要な切手を貼り宛先を書いた封筒（A4サイズ）を同送してください。切手の額については重量によって異なりますので郵便局にてご確認ください。なお、簡易書留郵便にて返却しますので通常料金に300円加算して切手を貼付してください。

■ 「音楽療法士認定規則（新版）」の発行について

「新認定制度」の制定に伴い、2010年9月1日に「音楽療法士認定規則（新版）」が発行されました。購入を希望される方は、500円の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、「認定規則（新版）請求」として事務局へお申し込みください。（会員のみが配布対象です）なお、返信用封筒は不要です。

※音楽療法士（補）の資格もしくは海外の音楽療法士の認定資格を有する方で、2011年度に認定申請をされる方は、従来の認定制度が適用されます。「認定規則（旧版）」をお取り寄せください。

■ 会費（年会費）納入のお願い

2011年度新年度が始まりました。年会費は別便でお送りする専用の振替用紙にて早めにお納めいただきますようお願いいたします。

正会員 10,000円 学生会員 6,000円
購読会員 6,000円 賛助会員 50,000円／1口

払込先 郵便振替口座 ○加入者名：日本音楽療法学会
○口座番号：00120-9-657711

■ カリキュラムガイドライン01の取り寄せについて

「カリキュラムガイドライン01請求」として事務局へお申し込みください。

■ 第10回認定音楽療法士（補）試験問題解説集の発行について

2001年に発表された「カリキュラムガイドライン'01」適用の音楽療法コース卒業生を対象に、2011年1月16日、第10回の認定試験を実施しました。この試験問題の解答と解説集が発行されます。（2011年7月頃予定）昨年度（2011年1月16日）の受験者の方には事務局からお送りしますが、それ以外の方で入手希望の方は以下に沿ってお申し込みください。1冊1,000円です。（送付は7月以降）

また、2001年度第1回から2005年度第5回までの5回分の音楽療法士（補）試験問題解説集を1冊にまとめた合冊版が発行されています。合冊版は1冊で2,000円です。なお、従来通り第1回から第9回まで、年度別の音楽療法士（補）試験問題解説集もそれぞれ発行されています。年度別の試験問題解説集は1冊1,000円です。

購入を希望される方は希望の試験問題解説集の年度と冊数（合冊版を希望の場合はその旨）を明記の上で、冊数分の合計金額の郵便為替（郵便局にて購入）を同封して、学会事務局へお申し込みください。為替は金額に応じて、1,000円の定額為替を必要枚数購入されても、合計金額の額面で普通為替を1枚購入されても、どちらでも結構です。なお、返信用封筒は不要です。

■ 「抄録の書き方」のご購入について

研修・講習委員会編纂による「抄録の書き方（わかりやすい学会発表をするために）」が発行されています。（B5版76ページ、2006年8月23日発行）購入を希望される方は1,000円の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、「抄録の書き方請求」として学会事務局へお申し込みください。なお、返信用封筒は不要です。

■ 学会誌バックナンバーのご購入について

日本音楽療法学会、日本バイオミュージック学会および臨床音楽療法協会の学会誌のバックナンバー購入につきましては学会事務局では取り扱っておりませんので下記へお問い合わせください。

〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-21 アカデミア・ミュージック株式会社
TEL：03-3813-6751 FAX：03-3818-4634

■ 事務局への各種お届けについて

現在学生会員の方で教育機関を卒業された方は、正会員への会員区分の変更が必要です。事務局まで文書にて区分変更の届出をお願いします。正会員から学生会員へ変更を希望される場合も事務局へ届け出てください。（学生証のコピー添付）

また、市町村の合併などを含め住所に変更があった会員の方は、事務局まで文書にて住所変更を届け出てください。

■ 音楽療法士求人情報提供のお願い

音楽療法士の求人情報を学会ホームページに掲載しています。有償のものに限定しますが、求人情報を事務局へお寄せください。これは情報を提供するだけのもので、就職の斡旋をするものではありません。

■ 事務局職員の異動と事務局体制について

退職1名 小山 朗子（2011年4月20日付け）

新体制 事務局長 越智 和雄、主任 三浦 貴子、職員 宮尾 咲輝（新）、石井 明日香（新）

以上4名体制で業務を行いますのでよろしくお願いたします。